

2. 取組事例 1 天神山小学校ふれあい公民館学習

○概要

目指す子どもの姿を共有し、連携を深める活動を通し、健康力旺盛な子どもを育成することを目的とした協働による4つのふれあい行事の一つ。校内で実施する「ふれあい学習」と公民館で実施する「ふれあいものづくり」の2部構成の取組。

○実施主体

【かしこい頭育成委員会】※CSの実働推進組織（三者の代表で構成）

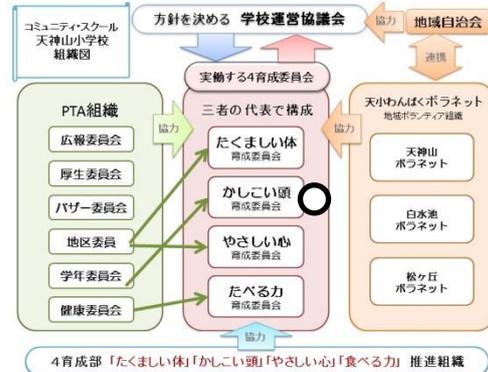
○構成メンバー

【家庭】PTA学年委員会代表

【学校】かしこい頭育成部代表（教師）

【地域】校区内三地区（天神山、白水池、松ヶ丘）のボランティア代表等

○役割分担



	学校	家庭	地域
ふれあい学習	・プリント準備 ・指導	・学習指導補助(花丸先生)の募集、集約、参加	・学習指導補助(花丸先生)として参加
ふれあいものづくり	・児童引率、指導	・全体の計画、準備、運営	・ものづくり内容の計画、準備、指導

※学校は、会議資料やアンケート作成、回収、集計、学校運営協議会での報告あり。

○取組内容

居住地区ごとのグループに分かれ、学校の教室で行う①「ふれあい学習」と居住地区の公民館で行う②「ふれあいものづくり」の2つの活動を組み合わせ、2日間（両日午後の時間に実施）に渡り実施している。



【ふれあい学習】 【ものづくり】

①ふれあい学習

既習内容の習熟に向けた課題に取り組み、花丸先生（保護者、地域住民等）に丸付けをしてもらったり、教師にアドバイスをもらったりする。

②ふれあいものづくり

居住地区ごとに登校班にて学校から公民館に移動し、地区ごとに地域代表を中心に考えられた学年に応じたものづくりを地域の方、保護者、教師とふれあいながら取り組む。

【令和元年度ものづくり内容】

地区 (児童数)	内容
天神山 (216人)	下学年:紙飛行機・折り紙 上学年:しめ縄飾り
白水池 (77人)	全学年:凧づくり
松ヶ丘 (518人)	低学年:ふんぶんごま 中学年:紙巻ごま 高学年:うぐいす笛

※松ヶ丘地区は児童数が多いため学校の多目的ホールで実施

○取組の成果

- ・2日間で例年保護者140人程度、地域40～50人の参加があり、子ども、教師、保護者、地域の方が学校や公民館でふれあう機会となった。
- ・連携・協働することで、学校・家庭・地域の三者のつながりが深まった。
- ・花丸先生がいることで、子どもたちは学習に意欲的に取り組むことができた。
- ・ものづくりは、子どもたちにとって日ごろできない体験の機会となるとともに、公民館に来館したことのない子どもたちの来館のきっかけにもなった。

3. 取組事例2 日の出小学校ふれあいサンフェスタ

○概要

日の出小学校で行われる児童と地域の文化祭。学校・家庭・地域が協力して開催し、各種文化活動を通じ、互いの交流を図り、きずなを深めることを目的に実施。

○実施主体、構成メンバー

サンフェスタ実行委員会（全体の企画、運営のイニシアチブをPTAが取る。）

【サンフェスタ実行委員会構成】

学 校	家 庭	地 域
・校長 ・教頭 ・主幹教諭	・PTA本部役員 ・PTA学年役員 ・PTAサンフェスタ委員	・日の出町、サン・ピオ地区自治会 ・高砂会(日の出町のシニア会) ・各地区子ども会育成会

※その他、コスモクラブ(放課後児童クラブ)代表が参加

○協力団体等

春日北中学校、精華女子短期大学、春日市ボランティアセンターなど

○実施内容

令和元年10月19日(土) 正午から午後3時半まで 日の出小学校にて

ステージ	体験・工作	展 示	バザー
・子ども、大人のサークル発表(ダンス、フラダンス、パトントワリング) ・春日北中吹奏楽部演奏	・書道、茶道、マジック、バルーンアート、ニュースポーツ、風船バレー、昔あそび体験 ・ペットボトルロケット、プラバン、スライム、ミサンガ作り	・書、絵画、絵皿など(児童、地域の方の作品) ・生け花(放課後子供教室の児童の作品) ・自治会の広報による広報紙や撮影画像スライド	・飲み物、おにぎり、かしわ飯、焼きそば、フランクフルト、から揚げ、カップシフォンケーキ、綿菓子、駄菓子、ヨーヨーつりなど

○成果

・学校・家庭・地域三者の連携・協力関係が深まるとともに、多くの来場者があり、地域の大人から子どもまで幅広い交流が図られた。

・子どもたちは主体的に体験活動に参加し、文化や芸術にも親しむことができた。

・地域の公民館等で活動する子どもたちや大人にとっては、活動の成果を発表し達成感を味わう機会であり、参加者にとっては、他者の発表や作品に触れ、学ぶ場を知る機会となるなど、地域の生涯学習の推進に寄与した。



【茶道体験】

【児童作品展示】

4. 連携・協働活動を通じて見えてきたこと

学校・家庭・地域が目標を共有し、互いに連携・協働しながら新たな取組を生み出し、子どもたちを含め取組を重ねていく中で、情報共有(情報のつながり)、行動連携(行動つながり)、異年齢交流(子どもと大人のつながり)、お互いへの感謝(心のつながり)など、様々なつながりの広がりや深まりが見られるようになった。この積み重ねが地域の活性化や協働のまちづくりにもつながっているものと考えます。

問合せ先

〒816-0803 春日市原町3丁目1番地5

春日市教育委員会 教育部 地域教育課 こども共育担当

TEL:092-584-1111 FAX:092-584-1153

E-mail : kodomokyoiuku@city.kasuga.fukuoka.jp